

中堅企業等の成長促進に関するWGの今後の進め方について

- 令和2年9月2日開催の「中堅企業等施策に関する関係府省会議」において整理した、コロナ禍を踏まえた3本柱の取組方針について、着実に対応を推進する。
- 加えて、地方説明会で挙げられた課題等も含め、取組方針の更なる拡充を図る。

重点3本柱	現状	取組方針
① 中堅企業等の事業再生、M&Aを含む事業承継の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 多くの企業が<u>事業再生の課題に直面</u>。<u>足下の受注減は今後の事業にも影響</u>。 ● 一方、この機を捉え、<u>M&Aにより他社の経営資源を承継</u>し、地域経済を牽引しようとする取組も見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業引継ぎ支援センターなどの<u>関係機関の協業・情報連携</u>を強化。 ● 事業承継に関する<u>地銀のノウハウ向上</u>や<u>サポート人材の活用</u>を促進。等
② 若手人材のUIJターンの促進及び中堅企業等とのマッチング強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい生活様式への対応として、<u>リモートワーク等、場所に縛られない柔軟な働き方</u>が求められる。 ● 都市部の若手人材を中心に、<u>地方移住への関心</u>が高まっており、中堅企業等にとっては、<u>UIJターン人材を確保できる好機</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>東京の若者(20~30代)にフォーカスしたUIJターン</u>を支援。(求人企業情報、移転資金、家族・暮らし等のボトルネックの解消) ● 都市部の若者の<u>地方インターン</u>を促進支援。等
③ サプライチェーンの強靱化を含む、中堅企業等の新たなビジネス展開の支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外における<u>生産拠点の集中度が高い製品等の供給途絶</u>などリスクが顕在化。 ● <u>コロナ禍に対応する新技術商品の開発、新たな手法による海外展開</u>の取組も重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各省所管の<u>国研が横連携で案件発掘</u>を行うための体制を構築。 ● 国内企業と海外バイヤー等をつなぐ<u>オンラインプラットフォーム</u>や、<u>海外ECサイトと連携したジャパンモール</u>を整備。等

地方説明会で挙げられた課題等も踏まえ、「中堅企業等の成長促進に関するWG」において、取組方針の拡充・深化を検討。

拡充・深化の
イメージ

事業改善や他企業等との
新たな連携を生み出すDXの推進

来年夏のインターンシップ集中時期
を見据えたインターン支援

企業自身の海外展開や
海外現地事業の支援